

2022年度 滋賀会第3回定例研修報告

滋賀森林インストラクター会

■実施日 2022年10月30日(日)

■場所 高島市ビラDEST今津

■参加者 佐々木、梶谷、高橋、小西、下川、平田、橋木、関澤、森上、上等(一般)、高田



■報告



こんな絶景の地から研修会は始まりました。



アカマツとクロマツが並んでいるので比較ができるポイントです。



イタチの糞。
自分の居場所をアピール！！



蛇の抜け殻発見！！



センブリ
強い苦みがあり、
健胃薬として知られている。千回
振り出しても苦
みが無くならないので千振と名
付けられたとか。



オオトビサシガメ



ホオノキ
軽くて加工しやす
く下駄の歯や日
本刀の鞘に利用

ハイコウリントンポポ
(這い紅輪蒲公英)
ヨーロッパ原産
全国に広く帰化している



オオイワカガミ
(イワウメ科イワ
カガミ属)



ヤマグルマの葉(ヤマグ
ルマ科ヤマグルマ属)
別名トリモチノキ 枝先に集
まって葉がつく ミズキの



鹿の角研ぎの痕 鋭い！！



アカイタヤの葉(ムクロジ科カエデ属)
北海道と本州日本海側の山地に。



**イワウチワ(イワウ
メ科イワウチワ属)**

葉先はややへこみ、基
部は心形またはくさび
形。花は4~5月



**コアジサイ(アジサイ科ア
ジサイ属) 裝飾花がない。**



**ミヤマカタバミ(カタバミ科カタ
バミ属) 小葉の先端は切形で中央が
へこみ、かどは鈍端。3~4月花期**

**ノササゲ(マメ科ノササゲ属) 3~5個の
主枝が入っている。種子は黒紫色で白粉を
かぶっている。色がとてもきれいです♪**



**裏スギ(アシウスギ)ヒノキ科スギ属 日本海側
の多雪地に自生する変種。枝が垂れて地面につくと
発根。葉は枝に伏す傾向。**



**ヤマザクラ(バラ
科サクラ属)**

低地に最も広く自
生するサクラ。冬芽
の芽鱗が外側にや
や開く。鋸歯は小さ
めで、葉裏はよく白
みをおびる。



**ヤマボウシ
(ミズキ科ミズキ属)**

ホオノキ(モクレン科モクレン属)にツルアジサイ(アジサイ科アジサイ属)が巻いている。モクレンの冬芽はロウソクに似ている。

ツルアジサイの鋸歯は三角形で30以上ある。装飾花は白色で萼片は4個。※イワガラミは1個。花殻は冬まで残る。イワガラミと異なり樹皮はよく剥がれる。



キハダ(ミカン科キハダ属)葉をちぎるとミカン臭がある。樹皮を削ると黄色い内皮が見える。樹皮にはコルク層がある。



オオモミジ(ムクロジ科カエデ属) イロハモミジより葉が大きく裂片は幅広く、鋸歯が単鋸歯。2月頃にカエデシロップがおいしい



カワラタケ(サルノコシカケ科)広葉樹・針葉樹の枯木などに多数群がって発生



ノリウツギ(アジサイ科アジサイ属)北海道~九州の冷温帯に自生。葉柄が長くて赤みを帯びる。花は円錐花序で枯れた装飾花が冬まで残る。和紙製造の「のり」に使われることが名前の語源。

ミズキ(ミズキ科ミズキ属)冬芽は鱗芽で冬は赤くなる。互生。葉は枝先に集ってつく。

ノリウツギ



鹿の足跡@治山堰堤



サワフタギ(ハイノキ科
ハイノキ属)



クiri(ブナ科クiri属)とイワガ
ラミ(アジサイ科アジサイ属)



オオカメノキ(ガマズミ科
ガマズミ属)冬芽は裸芽で
活葉の星状毛が密生



スギ(ヒノキ科スギ属)

圧縮あて材

針葉樹では樹幹が傾斜する
と、幹の下側の肥大成長が促
進される。



キタヤマブシ(キンポウゲ
科)(トリカブトの仲間)



タカトウダイ(トウダイグサ科)



ミズナラ(ブナ科コナラ属)のどんぐり



スギ(ヒノキ科スギ属)とツタウルシ(ウルシ科ウルシ属)



ミズオトギリ
キタヤマブシ



平池
キタヤマブシ、カキツバタ、ショウブ、ミズオトギリ、マツカサススキ



イソノキ(クロウメドキ科イソノキ属)葉柄や若枝、冬芽に毛が多い。コクサギ型葉序になる。山地の水辺の岩場で見られる



マツカサススキ(カヤツリグサ科)日当たりのいい湿地に生える。



レモンエゴマ(シソ科)

エゴマに似て、葉にレモン臭がある。山地の林縁などに生える 1 年草。果穂はシソによく似ている。



コシアブラ(ウコギ科コシアブラ属)

掌状複葉。黄全体に刺はなく高木になり、明瞭な小葉柄があり樹皮が平滑



フッキソウ(ツゲ科)群落

常緑の葉が茂る様子を繁栄にたとえたとか



スギ(表スギ)(ヒノキ科スギ属)本州太平洋側や四国、九州に自生

キミズミ(バラ科リンゴ属)の実

分裂葉や不分裂葉が交じることが特徴





ケンポナシ(ク
ロウメモドキ
科ケンポナシ
属)本州~九州
の温帯に自生。
肥大した柄は甘
く食べられる。



ツルウメモドキ(ニシギ科ツルウメモドキ属)
冬芽の芽鱗がしばしば小さな刺状になる



アキノキリンソウ
(キク科)



マンサク(マンサク科
マンサク属)





オオバヤシャブシ
(カバノキ科ハンノ
キ属)果穂は1個ずつ
つく。雄花は穂状で垂
れる。



ナナカマド(バラ科ナナカマド属)北海
道~九州の冷温帯・亜高山帯に自生。赤い実
は晩夏~冬まで見られる。紅葉は美しいが
地域によって変わる



コハウチワ
カエデ(ムク
ロジ科カエ
デ属)9裂が
基本。イロハモ
ミジとは違い
葉先は短く尖
る。



ノブドウ
(ブドウ科
ノブドウ
属)実に虫
こぶができて
いる。巻ヒゲ
が各節から
でる。ブドウ
属のヒゲは
「出る出る出
ない」。

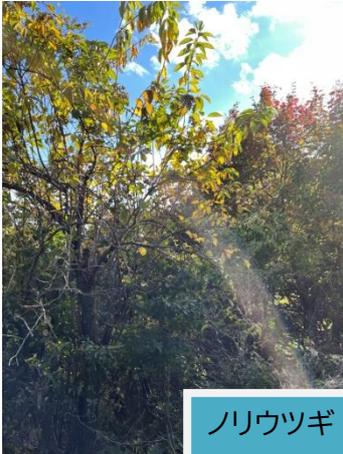
ツルリンドウ(リンドウ科)



アオジクマユミ(ニシシギ科
ニシシギ属)別名サワダツ
本州~九州の冷温帯に自生。花
は紫色で花実とも5数性。



ハバヤマボクチ
(キク科) 日当たりのいい山野。語源は、茸毛が火起こし時の火口として用いられたことから。



ノリウツギ

コカマキリ 前足内側の模様が特徴！
黒とベージュの色がチャームポイントです。



アキチョウジ(シソ科)

山地の半日陰に生える多年草。秋に咲き、T字型の花が特徴



コバノガマズミ
赤い実がかわいい♡





ナナカマド



タニウツギ(スイカズラ科タニウツギ属)日本海側に多く自生。葉裏全体に白い毛が密生。花はピンク色



ノブドウ



☆絶叫ブランコ
☆と
北びわこの風景
を是非体験して
ください♪♪♪